



道路ネットワークの構築に向けて

長野県道路整備期成同盟会 会長 山岸 喜昭

本同盟会の活動に対し日頃より御理解、御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、昨年の「命と暮らしを守る道づくり全国大会」、「安全・安心の道づくりを求める全国大会」などの活動に、多くの市町村長の皆様に参加いただき、道路整備の機運を大いに高めることができ重ねて御礼申し上げます。

さて、近年は令和6年能登半島地震をはじめ、台風や線状降水帯などにより、大きな災害が相次いで発生し、南海トラフ地震臨時情報が発表されるなど大規模地震への備えも求められる中、より信頼性の高い道路づくり、災害時に地域を孤立させない道路ネットワークの確保が、一層重要となっています。

加えて、最も基礎的な社会資本である道路を、良好な状態で次世代へ継承していくことが我々の責務であり、道路施設の長寿命化を図るべく老朽化対策を推進していく必要があります。

こうした中、国の令和7年度道路関係予算において、防災・減災、国土強靱化の取組の加速化・深化を図るため、令和6年度補正予算と合わせて、道路整備を重点的・集中的に対策を講じる財源が確保されたことは、我々の強い思いが反映されたものと確信しています。

人口減少下において、地域を維持・発展させていく上で、道路は極めて重要なインフラです。産業の育成、生産性向上の観点などからも、県土の骨格を形成する高規格道路から生活に密着した市町村道に至るまで、県内道路ネットワークを確実に構築していくことが重要です。

今後も、道路整備及び管理を着実に進めていくためにも安定した予算の確保が課題であり、国で策定が進められている国土強靱化実施中期計画の中で、必要な規模、期間を定めることが肝要であり、そのためにも本同盟会としてもこれまで以上に活動してまいりますので、引き続き御支援、御協力をお願いいたします。

長野県建設部 道路建設課

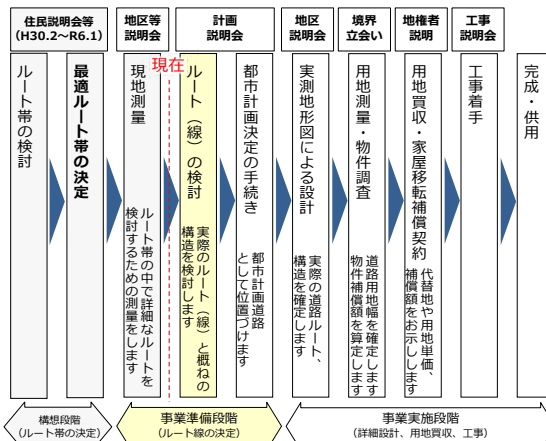
松本糸魚川連絡道路 (大町市街地区間) について

松本糸魚川連絡道路は、長野県松本市から新潟県糸魚川市に至る延長約100kmの地域高規格道路です。

大町市街地区間 (約9km) については、令和6年1月に最適ルート帯を決定しました。今後は、関係する地域の皆様と意見交換をしながら、実際のルート線と概ねの道路構造を検討してまいります。



松本糸魚川連絡道路(大町市街地区間)の最適ルート帯



松本糸魚川連絡道路(大町市街地区間)の事業の進め方